

# 柳生の里



## 1 十兵衛杉

柳生の北西の丘のふもとにそびえる老杉。1626年、柳生十兵衛が諸国漫遊に旅立つときに、この杉を植えたと言われています。時を経て落雷のため枯れていますが、今も柳生の地を見守っています。

## 2 旧柳生藩家老屋敷(有料)

江戸時代の後期に柳生藩家老として藩の財政を立て直した小山田主鈴の屋敷です。1964年から作家の山岡荘八氏の所有となり、柳生を舞台にしたNHKの大河ドラマ「春の坂道」もここで構想が練られたと言われています。1980年遺族から奈良市に寄贈され、主屋の一部に資料を展示、一般に公開しています。



## 3 芳徳寺(有料)



正式には神護山芳徳禅寺といい、柳生家の菩提寺で1638年に柳生宗矩が父石舟斎の菩提を弔うために創建し、沢庵和尚が開山した寺院です。もとは柳生家の居城があり、石段、掘割などが城の名残をとどめています。

## 7 柳生家の墓

芳徳寺の北50m、裏山の松林の中に柳生家一族の墓所があります。柳生宗矩の墓石を中心に、石舟斎、十兵衛、宗冬など80数基の墓石が



が苔むし整然と並んでいます。特に目を引くのが、八代藩主の二男である俊睦のもので、酒だるの台、徳利の塔、さかずきの笠という変わった墓石です。

## 4 旧柳生藩陣屋跡



柳生宗矩が築いた正木坂の陣屋跡です。建物は1747年に全焼し、仮建築のまま明治を迎えました。1977年から市による発掘調査が行われ、現在では、当時の陣屋をしのばせる史跡公園として整備されています。春には桜が咲き、静かな山里を彩っています。

## 5 柳生花しょうぶ園(有料)

柳生の里の休耕田を利用して作られたのが、柳生花しょうぶ園。6月には、約1万m<sup>2</sup>の園内に、約460種、約80万本の花菖蒲が、その美しさを競い合うかのように咲き乱れます。



●毎年6月初旬～7月初旬にかけてが見頃です。  
お問い合わせは、TEL090-8379-6537(期間中のみ)

## 6 一刀石



芳徳寺から約700mの戸岩谷にある約7m四方で中央から2つに割れた巨石。柳生宗厳(石舟斎)が天狗と試合を行い、一刀のもとに天狗を切り捨てたところ、そこにあったのは2つに割れた巨石と言われ、それからこれを一刀石と呼ぶようになったと伝えられています。

